

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日清エフ・ディ食品株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒701-4276 岡山県瀬戸内市長船町服部250番地
----	------------------------------	----	---

本票作成 部署名：品質管理課

主たる業種 分類コード 09 業種名 食料品製造業

事業の概要 当社は、昭和47年に日清食品の子会社として設立された真空凍結乾燥を専門とする工場である。主にカップ麺の具材に使用される乾燥エビや乾燥肉が主要製品である。

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	日清エフ・ディ食品株式会社	岡山県瀬戸内市長船町服部250番地

特定事業者の該当要件 ①燃料等原油換算1,500kl以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
(●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)	(令和 4) 年度排出量	目標年度 (令和 6 年度)
	3,441 t CO ₂	3,006 t CO ₂	3,269 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 4) 年度排出量
	①	日清エフ・ディ食品株式会社	3,006 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 令和 2 年度 ～ 令和 6 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(4) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	6.1 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量(t)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(4) 年度	目標年度
		4.711 t CO ₂ /(t)	4.422 t CO ₂ /(t)	4.475 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 4 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・コンプレッサーと排水処理ブロワーを省エネタイプに更新、またデマンドメータを導入しピーク予想により電力使用量の調整（空調機やブロアの台数制御）を行う。
 ・工場の照明をLEDに更新。
 ・冷凍機の流量調整を行い、運転時間を削減。
 上記の措置を実施したことにより消費電力を削減することが出来た。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制の基、エネルギー使用状況を管理している。
- ・ISO14001に基づき、工場長をトップとした環境管理体制の基、省エネに取り組んでいる。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
日清エフ・ディ食品株式会社	<p>(令和4年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサーを省エネタイプに更新 ・排水処理ブロワーを省エネタイプに更新 ・工場の照明をLEDに更新 ・デマンドメータを導入しピーク予想により電力使用量の調整（空調機やブロアの台数制御）を行う ・冷凍機の流量調整を行い、運転時間を削減 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水処理ブロワーにインバーターを取り付けて周波数の調整による消費電力を削減 ・重油ボイラーを都市ガスボイラーに燃料転換してCO2削減 ・5,6,7号釜用の冷凍機を省エネ型に更新

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	緑の募金(公益社団法人 岡山県緑化推進協会)
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	今後実施予定：RE100対応の電力メニューへの転換を行う
その他	無	

【その他特記事項】

--